

平成十九年度も半分が終わり、いよいよ後半の下半期を迎えました。今号では、北野地区町内会連合会の濱田会長に上半期を振り返ることも、下半期の事業展開についてお話ししました。また、今号から、地域のさまざまな団体の活動もご紹介していきます。第一回は、北野地区福祉のまち推進センターの一瀬運営委員長にお伺いしました。

## 今年度の折り返し点を迎えて

北野地区町内会連合会

会長 濱田 英彦

北野地区最大のイベントであります「北野ふれあい夏まつり」も七月二十八日、親水公園を中心に盛大に行われました。フィナーレの花火大会も例年にも増して華やかに夜空を彩り盛況裡に終わることができました。

皆様方の協力をあらゆる方面でいただき、心よりお礼申し上げます。今年度は清田区誕生十周年を迎え一年間にわたって区内全域で色んな記念行事が展開されています。北野地区もこの「ふれあい夏まつり」をはじめ

・厚別川ヤマベ稚魚放流（五月十九日）  
・北野福祉まつり（十月二十八日北野連合会館）  
・北野地区青少年音楽のひろば（十二月九日会場北野小学校、北野地区の全小・中・高校参加）

等の行事を記念行事と名づけて十周年を共に慶びたいと展開をしています。尚十一月四日が区分の日で記念式典が行われ満十歳に清田区になりました。

ふれあいまつりの裏話の一つ、華やかな舞台裏で地味な仕事をこなしてくれる方達、設営、撤収、警備、売店、焼きとり、とうきびをむきゆてる、うどん、ソバの担当の人達、北野地区全体から大勢の方が

色々な役目をこなしてくれませんが、今日は「ミ」の処理をしてくれた方の話です。

場内六カ所に設けた「ミ」箱は、盛況であればある程アツクという間に満杯。これを分別、収集場に集めて更に、処理。一日中、長時間にわたり黙々とよれ仕事をこなしてくれたのは、皆様方の各町内の保健衛生部の部長さんをはじめ部員の方達と町連の担当部長の二十数名の方達です。

これに止まらず臨時の仕事が次から次にトイの水、会場整理、案内等役割を超えていやな顔ひとつしないで、まことに頭が下がる思いでした。みなさんに改めてその場で拍手してあげてください。ボランティアの心髓をみる思いでした。こうして数百名の地域の方々とまつりを作り上げることが出来る幸せを感じています。

清田区内には五つの町内会連合会がありまして、区内全域にまたがる仕事を輪番制で行っています。平成十九年度の北野町連のお役目は「地下鉄東豊線建設促進期成会連合会」と「あしりべつ郷土館運営委員会」の長い名前の二つの会の幹事連立となっています。

早い話が地下鉄を清田区にということ、あしりべつ郷土館にもっと皆様に来て頂くにはどうするのという事です。地下鉄は現状で終わりはありません。清田発展のためどうしても欲しい施設です。

区全体の盛りあがりて実現を心から願って知恵を絞りたいと考えています。ご協力をお願いいたします。あしりべつ郷土館では昨年度、子供さん向けに「郷土館まつり二〇〇七」を企画ご好評を得ました。今年も内容を吟味して「二〇〇八」を実施したいと考えています。内容ご提案、大歓迎です。北野まちづくりセンター（電話八八三・〇三三三）にご連絡ください。

この仕事を引き受けて五月月がたちました。広報さつ紙面八月号の最終ページに私の考えを述べさせていただきました。お目を通してくださればと思っています。暑い夏も終わりの秋から冬にむかっています。皆様ご健康で楽しい日々をお過ごしください。

## 北野地区福祉のまち推進センター

運営委員長 一瀬 ヒロ

皆さんの中にも「福まちって何？」という方が多いのではないのでしょうか。そこで、北野地区の「福まち」についてご紹介させていただきます。

核家族化や少子高齢化が進み、一人暮らしの高齢者や障がい者が安心して地域で快適に暮らしていくために、地域で課題を発見し解決する仕組みが求められてきました。

福祉のまち推進センター、通称「福まち」は、平成七年五月に策定された「札幌市地域福祉社会計画」の中で、住民の自主的な福祉活動を支えるための福祉活動組織として位置づけられました。北野地区では、平成八年三月二十四日に設立しました。

主な活動は、「高齢者の見守り・安否確認」手作り弁当の宅配訪問やバス旅行などの「ふれあい活動」子育てサロンなどの「子育て支援活動」などです。対象となる人は北野地区に住所の高齢者や障がいを持っている方、子育てに不安を持つ母親と子どもなどです。

町内会連合会（町連）との関係ですが、町連の下部組織ではありません。町連ごとに設置する下部社会福祉協議会の活動組織として位置づけられています。町連会長は、地区社会福祉協議会会長を兼務、町連の福祉担当副会長と福祉厚生部長、女性部長が福まちの役員として参加するなど、町連は全面的に福まちをバックアップしています。町内会との関係は、福まちの課題は町内会の課題でもあり、福まちの事業は町内会の理解と協力なしでは推進することができません。町内会からは、推進員二百三十三人、協力員八十八人に参加していただいています。

今後とも、町内会や民生児童委員、関係各団体と連携を図り協力して「誰かが安心して暮らせるまちづくり」に努めてまいります。

■福祉まつりのご案内  
日時 十月二十八日、午前十時から  
会場 北野連合会館・北野児童会館  
内容 人形劇や寸劇、体力測定（骨密度・血圧等）など楽しい企画がいっぱい

## どうぞよろしく

町連の理事事務を担当している佐々木尚美さんをご紹介します。



A型 血液  
座 座  
物 物  
好 好

地域の皆様に助けられながら、少しずつ仕事にも慣れてきました。まだまだ、一人前とはいきませんが、これからもいろいろとご指導を頂きながら頑張りますのでよろしくお祈りいたします。

■勤務場所 北野まちづくりセンター  
■勤務時間 月曜日 午後一時～四時  
水曜日 午前九時～正午  
金曜日 午前九時～正午

## 死亡交通事故をなくそう清田区から

9月末の交通事故による死者数は、二百十八人で、昨年同期より三十五人増となっています。

交通事故は、スピードの出過ぎなどドライバーの責任はもちろんですが、歩行者側にも、信号無視や横断歩道外での横断など交通ルールを無視した行為が原因となっている場合もあります。

一人ひとりが交通ルールを守り、交通事故の防止にご協力ください。



▲北野小が参加した街頭啓発(9月27日)

■冬の交通安全街頭啓発  
清田区5町連が参加します。  
日時：11月21日、午後2時  
会場：清田区役所「交流広場」



今号から、北野地区十七町内会を順次ご紹介していきます。  
第一回目は、東北野町内会の清水会長にお伺いしました。  
また「数字で見る北野地区」と題して、「さっぽろ統計情報」から北野に関するデータをご紹介していきます。



北野町内会連合会  
東北野町内会  
会長 清水 寛

皆さん、こんにちは。私は東北野町内会の会長 清水寛です。いつも町内会活動に積極的にご協力いただき、心よりお礼申し上げます。  
今年も、あっという間に半年が過ぎ、「夏祭り」や「盆踊りの夕」も四〇人を超える来賓をお迎えして、盛況のうちに終えることができました。

町内会活動も後半を迎えて、「敬老会」「ウォーキング」「踊りとカラオケの夕」「秋の旅」などと各部委員会や部長を中心に、準備が進められています。  
私の町内会は大所帯で、町内会の加入率は七五％で一五〇〇世帯を数えます。八区四九班編成で運営しています。

二区地域に三三戸の宅地造成が完成し、四月一日から一括で入会があり、二区六班として発足しました。  
また、七区に四四戸の宅地が完成して入居も始まっており、年度内の町内会への一括入会と新しい班の編成を目指して準備を進めています。

さて、近年、町内会にかかわる課題も多様化し多岐にわたっています。  
関係機関や団体、区、班との縦・横の連携を密にして、安全で安心して住みよく、心のよりぬきやなごみなど町内会活動の推進に努めてまいります。また、心づいても誰かでも語り合える仲間づくりのため、明るく楽しい日常活動に取り組んでいます。

## 数字で見る北野地区 ～「さっぽろ統計情報」から「人口」をテーマに北野地区を調べてみました～

■65歳以上の「老年人口」が7%を超えると高齢化社会、14%を超えると高齢社会、21%を超えると超高齢社会といわれています。

札幌市の65歳以上の割合は、17.7%、清田区の平均は15.9%で「高齢社会」に位置づけられます。清田区は札幌市の平均以下で、全体から見ると若い地域といえます。しかし、北野地区をみると老年人口は22.1%で、清田区で唯一「超高齢社会」となっています。全市的に見ても、北野地区は87地区中10番目に位置しています。市内で最も高齢化が進んでいる地域は、厚別区の青葉地区で31.6%となっています（平成19年7月1日現在）。

■下のグラフは、北野地区の条・丁目別に65歳以上の「老年人口」の人数と割合を表したものです（平成18年10月1日現在）。

このグラフから、全域が高齢化社会・高齢社会・超高齢社会で占められていることがわかります。

区分	1丁目	2丁目	3丁目	4丁目	5丁目
北野1条	140人 21.1%	92人 11.3%			
北野2条	144人 17.5%	225人 17.8%	97人 17.1%		
北野3条	112人 23.1%	116人 18.6%	196人 18.4%	141人 23.3%	284人 25.7%
北野4条	91人 26.2%	114人 21.1%	161人 21.9%	162人 21.4%	79人 14.5%
北野5条	122人 19.4%	56人 11.5%	178人 32.4%	259人 15.2%	195人 20.1%
北野6条	167人 19.0%	141人 19.3%	156人 31.3%	258人 19.8%	194人 42.8%
北野7条	90人 22.6%	114人 22.8%	220人 28.2%	241人 23.2%	245人 35.8%

\*白地：高齢化社会 \*薄い網：高齢社会 \*濃い網：超高齢社会

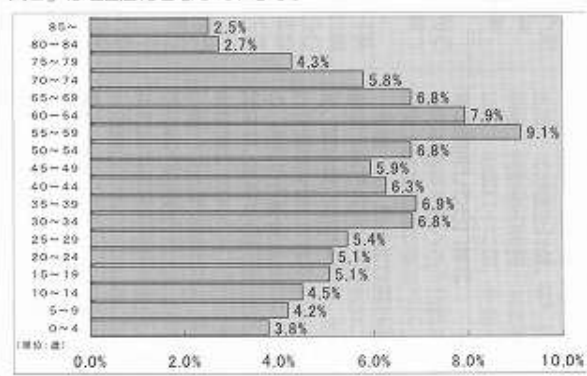
■北野地区の人口は、平成19年7月1日現在で22,683人（男性10,759人、女性11,924人）、世帯数は9,899世帯。札幌市の人口は、1,879,661人で北野地区にはその1.2%の人が住んでいます。

札幌市内には、87地区あり、人口は多いほうから48番目、世帯数は38番目で人口・世帯数とも平均的な規模といえます。また、清田区の5地区と比較すると、人口・世帯数とも里塚・美しが丘地区について2番目に多い地域となっています。

■下のグラフは、北野地区の年齢（5歳階級）別人口を表したものです（平成19年7月1日現在）。

グラフの形状が壺状になっており、いわゆる団塊の世代が多い地域といえます。一番多いのは、55歳から59歳の年代層です。

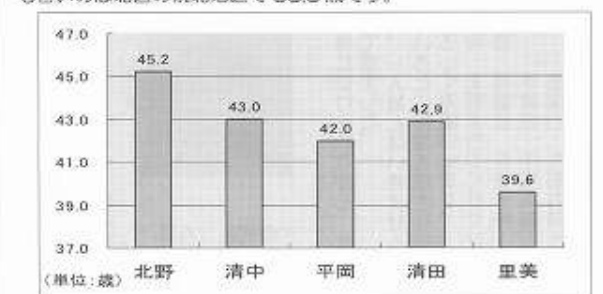
また、0歳から14歳までの「年少人口」は12.4%、15歳から64歳までの「生産年齢人口」は65.4%、65歳以上の「老年人口」は22.2%となっています。



■下のグラフは、清田区内5地区の平均年齢の比較です（平成19年7月1日現在）。

札幌市の平均年齢は43.0歳、最も高いのは厚別区の青葉地区で51.2歳、北野地区は45.2歳で14番目に位置します。

一方、里美地区は39.6歳で全市内でも2番目に若い地域です。最も若いのは北区の幌北地区で38.8歳です。



■下のグラフは、清田区内5地区の年少人口と老年人口を比較したグラフです（平成19年7月1日現在）。

北野地区は、老年人口が最も多く、年少人口の最も少ない地域。里美は逆に老年人口が最も少なく、年少人口が最も多い地域となっています。このグラフからも、北野地区が区内で最も高齢化が進んでいることがわかります。

